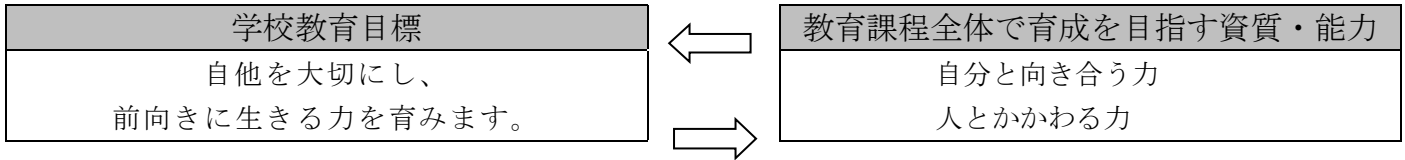


## 8 体育・健康プラン

### ～体育・健康に関する指導の全体計画～

#### 1 中期学校経営方針

##### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力



##### (2) 中期取組目標

中期取組目標
○復学後を見据えて、一人ひとりに寄り添い、安心して学べるように指導と支援を行います。 ・個々の病状や実態に応じた教育の充実を図ります。 ・様々な経験を通して、多様性を尊重し、人とのつながりを大切にする心を育みます。 ・保護者、医療、前籍校、関係機関との連携を深め、在籍から復学まで一貫した支援を行います。 ・GIGAスクール構想を推進し、情報活用能力を育成します。 ・センター的機能の充実を図り、病弱教育の取組について積極的に発信します。

##### (3) 体育・健康に関する指導の重点取組分野・取組目標・具体的取組み

重点取組分野	取組目標	具体的取組み
健やかな体	① 職員、保護者、関係諸機関との連携を深め、発達段階や病状に応じた生活リズムや生活習慣の形成など、健康に関する授業を計画し、自分の身体や健康についての意識を高める。 ② 学習環境や病状など、活動制限の中でも、取り組みやすい内容や指導方法の工夫を行い、児童生徒が意欲的に身体を動かす機会を設ける。	① 医療と連携し、活動制限を確認しながら、自分の体調と向き合い、生活習慣を意識して過ごせるようにする。 ② 児童生徒の実態に合わせてストレッチ等を行ったり、楽しく無理なく身体を動かしたりする活動を取り入れる。

#### 2 体育・健康に関する実態把握

<ul style="list-style-type: none"> <li>・本校通学、入院または自宅療養など、さまざまな健康状態の児童生徒がいる。</li> <li>・体を動かすことが好きな子どもが多く在籍するが、病気の影響や治療による制限から、思うように身体を動かしたり、運動したりすることが難しい。</li> <li>・運動への制限は、児童生徒によってそれぞれ異なる。</li> <li>・治療のため食事が制限されることがある。</li> <li>・入院中、日常生活が制限されることによるストレスを抱えている場合がある。</li> </ul>
---

### 3 体育・健康に関する具体的取組み

#### <体育科・保健体育科での取組み>

○健康の維持増進と体力の向上を図り、楽しく明るい生活を営む態度を育てることを目標とする。児童生徒や院内学級等の実態に合わせ、年間指導計画をもとに各経営部で単元を設定して行う。

○年間を通じて「体づくり」「表現運動」を実施する。ボール運動・球技では「ネット型」「ゴール型」を重点的に行うことで、コミュニケーション能力の向上を図る。児童生徒の病状や授業を行う環境を考慮して行う。

○生活の安全、交通安全、防災、非常時の対応等、安全上の課題に関する指導、健康情報や性・薬物に関する情報等への正しい選択、適切な行動に関する指導を行う。

#### <他教科での取組み>

○社会科で学習する環境問題や自然災害、理科で学習する気象や環境のメカニズム、生物の体の仕組み等の知識を複合的有機的に関連させ、自分の体や生活、環境への関心を深めることで、身の安全や健康への意識を高める。

○生活科での季節の特徴を活かした遊びを通し、体を動かすことの楽しさや喜びを体感する。

○家庭科での食生活に関する学習との関連を図り、健康的な生活の作り方の基礎をつくる。

○道徳科との関連

・道徳科における、最後まで粘り強く取り組む、気持ちよく挨拶をする、仲間と協力する、勝敗を受け入れる、フェアプレイを大切にする、仲間の考えや取組みを理解するなどの態度を養う学びにつなげることができる。

・『I'm POSSIBLE』を使用したオリンピック及びパラリンピックに関する指導、ルールやマナーを遵守する姿勢を育む指導、共生の視点をもたせスポーツの意義や価値に触れる指導などは、道徳科で学ぶ内容と関連させて指導することが可能である。

○総合的な学習の時間で設ける環境教室や食育教室では、自分の生活が環境と密接に関わっていることや健康の維持には適切な食事が欠かせないことを学び、生活習慣を整える能力を向上する。

#### <他領域での取組み>

○自立活動では、6区分中の健康の保持、心理的な安定、人間関係の形成、コミュニケーションとの関係から、ストレッチやボッチャ、卓球等の簡単に体を動かす活動を取り入れることで、体力の向上や気分転換を図る。

○健康教育として、個々の課題に対して個別指導や、目標に沿った集団指導を実施する。

○歯磨き指導や食育推進と連携した指導、学校保健委員会等で企画・実施する活動を通して、健康の維持増進を図る。

○環境教育では、外部からの講師を招いたり、児童生徒が自ら環境問題を考える場を設けたりして取り組む。

○防災教室での災害に関する学習と関連させて、災害時の行動の仕方や応急手当の方法を体得する。

○学校図書館の活用や学校司書との連携により、身体やスポーツに関する正しい知識を得て実践する力や自分自身の考えを形成して伝える力を育むなど、発展的な学びにつなげる。

○保健だよりを配布することで、健康の維持増進の仕方についての知識を提供する。

### 令和4年度 浦舟特別支援学校 体力向上1校1実践運動

《名称》「毎日 身体を動かそう」

《ねらい》子どもの実態に合わせた健康の保持増進と体力の向上

《内容》朝の会など一日の始業の時間にできる範囲で「ストレッチ体操」を行い、身体を動かすことを意識して、健康の保持増進と体力の向上を図る。